

昭和37年9月20日生
平成23年4月福岡県議会議員初当選
平成27年4月二期目
平成31年4月三期目
令和5年4月四期目
添田町立添田小学校・添田中学校卒
福岡県立田川高等学校卒
日本大学商学部会計学科卒
麻生セメント株式会社入社・株式会社
麻生情報システム転籍
株式会社麻生情報システム代表取締役
社長
福岡県農林水産副委員長 福岡県総務
企画地域振興委員長



こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com

県政報告 自由民主党福岡県議団
令和6年6月号

自由民主党福岡県議団
県民生活高工学任委員会委員
子育て支援人財育成調査特別委員会副委員長
福岡県議会議員 神崎 聡

自民党の派閥の政治資金パーティーを巡る裏金問題では、自民党は党紀委員会を用いて関係議員39名の処分を決定しました。巨額の資金還流や不記載の実態が解明されていない状態では、踏み切ったこと多くの国民は納得していません。民間であれば、不祥事が起きた場合、原因や経緯を把握して責任の所在を問うのが常識です。から、裏金づくりはいつ、誰が発案して始まり、何に使われたのか。ここを明らかにしない限り、政治への不信感は払拭されないのではないのでしょうか。

幹部には党員資格停止や後職停止を科し、幹部以外は不記載額に依りて後職停止や戒告となりました。次期衆院選に不出馬を表明したことを理由に、二階俊博元幹事長が処分を免れたのもふに落ちませんし、説明責任も果たしたとは言えないのではないのでしょうか。

やはり自民党は、組織的な資金還流が始まった経緯や裏金の使途の解明に協力し、党として有権者にきちんと説明すべきなんだと思います。自民党が自浄能力をまず示すことが政治の信頼回復の第一歩となるんだと考えます。

福岡県議会で、2月定例会中の3月8日に「政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書」を採択し、政府に対して提出しています。

信用・信頼は一朝一夕には構築できません。



政治資金パーティー裏金問題の再発防止等を求める意見書

政治資金パーティーに関する収入の一部が政治資金収支報告書に記載されていなかったことが判明し、政治資金規正法違反として立件された事案や、いわゆる裏金疑惑が指摘されている事案が連日報道され、国民の間に政治に対する不信感が広がっている。

政治資金規正法は、政治資金の収支の公開等により政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われるようにし、政治活動の公明と公正を確保することにより民主政治の健全な発達に寄与することを目的としている。この法の趣旨から逸脱した政治資金の取扱いが指摘され、政治のあり方さえも問われている今回の事態は、地方議会としても看過できず、誠に遺憾と言わざるを得ない。

まず、政治倫理審査会等により自浄作用の力を発揮し、全容の解明と政治に対する不信感の払しょくに取り組まなければならないことは当然であるが、政治資金の取扱いの適正化による裏金問題の抜本的な再発防止策も必要である。

よって、国におかれては、政治資金規正法の本旨に立ち返り、政治活動の自由との調和にも配慮しつつ政治資金パーティーに係る収支の透明性を確保するため、政治資金や政策活動費の取扱いについて、基準の明確化、収支報告書等への記載・公表の徹底その他必要な見直しを行い、今回のような事態の再発防止と政治に対する国民の信頼回復に誠心誠意取り組むよう、強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月8日

福岡県議会議長 香原 勝 司

衆議院議長 岸田 文雄 殿
参議院議長 野田 高志 殿
内閣総理大臣 松本 剛正 殿
内閣副総理大臣 林 芳正 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿
衆議院議員 尾辻 秀久 殿
参議院議員 岸田 文雄 殿
内閣総務大臣 松本 剛正 殿
内閣官房長官 林 芳正 殿

県民生活商工常任委員会

常任委員会は所管に属する県の事務に関する調査及び議案、請願等を審査するため設置されています。また委員会の中から知事より県各種審議会の委員に委嘱されています。

令和6年4月9日に県民生活商工委員会が開催されました。以下の議題について審議が行われました。

令和6年4月9日（閉会中）

1 調査事項資料

・グリーンアジア国際戦略総合特区の推進について

（商工部 商工政策課）

2 報告事項資料

・福岡県障がい者スポーツ大会の開催について

（人づくり・県民生活部 スポーツ局 スポーツ振興課）

・パラスポーツタレント発掘・育成事業「フクオカ・パラスター・プロジェクト（F-STAR）」について

（人づくり・県民生活部 スポーツ局 スポーツ振興課）

1. グリーンアジア国際戦略総合特区の推進について

本県では、北九州市、福岡市と共同で、平成23年に国から「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受け、環境を軸とした産業の国際競争力の強化、環境配慮型製品の開発・生産拠点の形成に向けた取組を進めています。

本特区では、国の税制・金融等の支援措置に加え、地域独自の支援措置を講じ、企業の設備投資を後押ししています。また、特区の指定区域は、順次追加してきており、当初の7市町から30市町まで広がっています。

こうした取組により、製品の研究開発から生産まで一貫した拠点化の進展や、グリーンイノベーション研究シーズの産業化が促進されています。

これまでに、国の税制等の支援措置を活用して新たな設備投資を行った企業は80社（このうち約5割が中小企業）、活用件数は103件で、設備投資の総額は約4,360億円、約2,980人の新たな雇用が生まれ、地域経済に大きな活力を与えています。

これまでの取組の成果として、

①製品開発から生産まで一貫した拠点化が進展

・EVモーターズ・ジャパンが、商用EVの最終組立工場や自動運転の実証実験向けテストコース等の複合施設「ゼロエミッション e-PARK」を整備中

・ローム・アポロが、国内初の磁気を用いた電動車向け半導体（絶縁ゲートドライバ IC）の生産体制を構築

・安川電機が、基礎研究から量産試作までの一貫した研究開発拠点「安川テクノロジーセンター」を整備

さらに、自ら状況を把握し、動作・姿勢を制御可能な次世代の自立作業方式ロボットの量産工場を建設予定

②グリーンイノベーション研究シーズの産業化を促進

・昭栄化学工業が、世界一、色の純度が高く環境負荷の少ない量子ドットの世界トップレベルの量産体制を構築

・Kyulux が、レアメタルを使用せず、高効率、高発色、高純度を実現する、次世代型有機EL材料の量産化に向けた機械設備を整備

今後の取り組みとして、2050年カーボンニュートラル実現に資する半導体、EV、水素などグリーン成長産業の振興を強力に進め、経済と環境の好循環を生み出し、本県の経済成長につなげるため、本特区の一層の推進を図り、県内中小企業の設備投資に対する支援に取り組んでまいります。

【測定会（1次選考）・競技相談日程】

地区 日程 場所 参加者数

北九州 6月25日（日） 北九州市立大学 体育館 7名

南筑後 7月 8日（土） 筑後広域公園 体育館・プール（※） 5名

福岡 8月26日（土） クローバープラザ体育館・プール（※） 28名

北筑後 9月30日（土） 久留米総合スポーツセンター 4名

筑豊 10月14日（土） サン・アビリティーズいづか 24名

京築 11月23日（木・祝） 行橋市民体育館 6名

2. 報告事項

・福岡県障がい者スポーツ大会の開催について

第3回福岡県障がい者スポーツ大会の開催について

1 目的

障がいのある方が、スポーツに参加することを通じて、スポーツに親しみ、喜び楽しむとともに、体力の維持・推進を図り、自立と社会参加、県民の障がいのある方に対する理解促進に寄与し、もって障がい者スポーツの普及・振興を目的とする。

2 主催

福岡県、福岡県教育委員会、（福）福岡県社会福祉協議会、（公財）福岡県身体障害者福祉協会、福岡県身体障害者施設協議会、（福）福岡県聴覚障害者協会、（福）福岡県盲人協会、（公社）福岡県手をつなぐ育成会、福岡県知的障がい者福祉協会、福岡県特別支援学校長協会、（公社）福岡県精神保健福祉会連合会、（一社）福岡県障がい者スポーツ協会

3 主管

（一財）福岡陸上競技協会、福岡県アーチェリー協会、福岡県卓球協会、ふくおか障害者フライングディスク協会、福岡ボッチャ協会

4 事業概要

（1）総合開会式

日時：令和6年4月29日（月・祝）10時30分～11時00分

会場：久留米総合スポーツセンター（メインアリーナ）

（久留米市東櫛原町170-1）

（2）実施競技・開催期日及び会場

（3）令和6年度参加者予定数

○選手 1,097名開催日 競技 障害区分 会場

陸上競技 知的 久留米総合スポーツセンター・陸上競技場

卓球 身体・知的・精神 久留米総合スポーツセンター・メインアリーナ

アーチェリー 身体 クローバープラザ・アーチェリー場

サウンドテーブルテニス 身体（視覚） クローバープラザ・サウンドテーブルテニス室他

ボッチャ 身体 クローバープラザ・体育館

陸上競技 身体 博多の森陸上競技場

フライングディスク 身体・知的・精神 博多の森補助競技場

ボウリング 知的 パピオボウル

4月29日（月・祝）5月11日（土）5月19日（日）

・パラスポーツタレント発掘・育成事業「フクオカ・パラスター・プロジェクト（F-STAR）」について

1 概要

（1）目的

パラスポーツに対する優れた素質や潜在的な能力を持つ者を発掘・育成する仕組みを構築し、本県から世界で活躍できるパラアスリートを継続的に輩出する。

育成プログラム期間は3年間。育成3年目終了時まで、育成対象者から国際大会出場、または全国大会等での上位入賞者、強化指定選手、強化指定候補選手のいずれかに該当する選手の輩出を目指す。

育成1年目 選手の可能性を広げる観点から、特定の競技を絞らずに、障がい種別や競技の特性を踏まえ、部門ごとに練習会を実施
育成2年目 競技種目を選択し、競技団体の活動拠点で練習し、専門トレーニングを実施
育成3年目 中央競技団体によるトレーニングや合宿等に参加

（2）対象競技

陸上、バドミントン、ボッチャ、ゴールボール、水泳、車いすバスケットボール、車いすテニス

2 主催

福岡県、一般社団法人福岡県障がい者スポーツ協会

3 令和5年度事業実績

（1）測定会（1次選考）・競技相談

・測定会 形態測定（身長、体重等）、体力測定（20m走、ボール投げ等）

（※）水泳希望者には泳力測定（4泳法）を実施

・競技相談 競技団体による競技内容、活動状況等の競技相談

・参加者 74名（肢体：21名、視覚：5名、知的：48名）（最年少：11歳、最高齢：52歳）

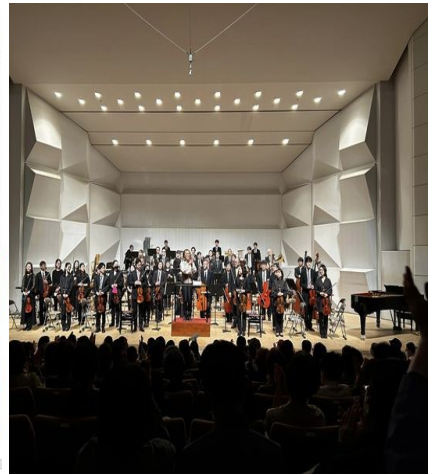
福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会

令和6年3月31日、今日は日田彦山線沿線地域振興として、添田町オークホールで、AIR:アーティスト・イン・レジデンス事業が開催されました。服部誠太郎知事や江口勝副知事、松本 國寛座長(日田彦山線復旧問題対策協議会)、県総務企画振興委員会からは正副委員長をはじめ県からも参加され、600座席は満杯でした。

感動と笑いの素晴らしい企画でした。悠久の歴史と伝統工芸、そして文化の薫る町なんだと改めて実感します。開場前から列ができるほど、多くの方にご来場いただき、コンサートは盛況のうちに終了しました。

※令和2年に設立された福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会において「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を策定しましたが、その一環として、芸術による交流促進事業(AIR:アーティスト・イン・レジデンス)が行われています。「ワクワクした地域づくり」と「アットホームな受け入れ環境づくり」による移住定住の促進を目的として、地域に一定期間滞在するアーティストが地域住民との交流を通して芸術活動を行う取り組みです。令和5年度は沿線地域に1か月程度滞在し、地域との交流を通して作曲活動を行う作曲家を公募したところ、全国から48名の応募がありました。作曲家の宮川彬良氏と演奏家の西本幸弘氏の助言のもと、地元関係者等で構成される選考委員会で選考を行った結果、5名の作曲家を選定しました。

宮川彬良氏のプロデュース、九州交響楽団の演奏で、5名が沿線地域の風土、歴史、文化に触れ、そして地域住民の皆様との触れ合いのなかで感じ取ったものを音楽として披露しました。



飯塚駐屯地創立57周年・第2高射特科団創隊50周年記念行事



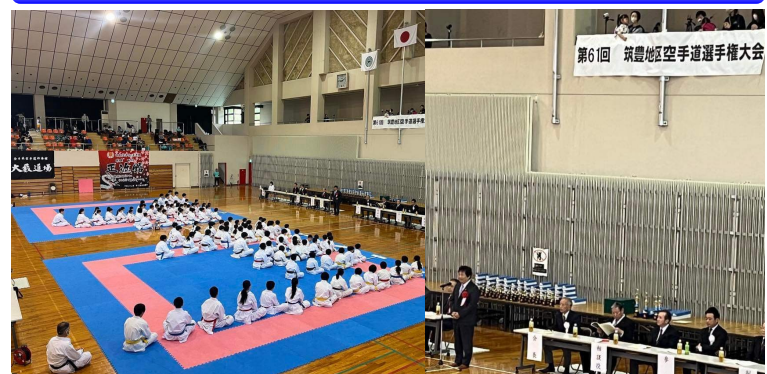
福岡県神道政治議員連盟情報交換会



令和6年度福岡県立田川高等学校入学式



第61回筑豊地区空手道選手権大会



【興国寺本堂、興国寺山門及び袖塀】

国の文化審議会は、令和6年3月15日に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、「興国寺本堂」「興国寺山門及び袖塀」を国登録有形文化財（建造物）の登録することについて、文部科学大臣に答申する予定です。

文化財の概要

名称 興国寺本堂
興国寺山門及び袖塀

住所 田川郡福智町上野1892

類型等 国登録有形文化財（建造物）

概要 興国寺は福智山南西麓に位置する曹洞宗の寺院である。本堂は対象8年（1919）の建築であり、地域の歴史的景観を構成する建物として評価された。
山門及び袖塀は対象13年（1924）の建築で、精緻で斬新なつくりであり、造形の規範となっているものとして評価された。



【全国青年農業者会議における農林水産大臣賞受賞】

第62回全国青年農業者会議「意見発表の部」において、田川4Hクラブの高瀬寛人氏（添田町）が九州地区代表として出場し、農林水産大臣賞（最優秀賞）を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

受賞者 田川4Hクラブ 高瀬寛人（25歳）（添田町）
（プロフィール）
農業大学校卒業後、2年間県内花き農家で研修し、その後親元就農。就農1年目から先代から経営継承を受けて、現在就農4年目。トルコギキョウを主軸とした花き軽々（施設面積60a）。

発表内容
題名：我武者羅～二代目の挫折と挑戦～
（要旨）
就農1年目にして、花き農家二代目として経営継承を受けたが、その年、病害の大発生により、経営上大きな失敗となり、挫折を経験。しかし、4Hクラブや先輩たちからの励ましで奮起し、「我武者羅」に対策を講じ、その結果、就農2年目は過去最高の収益を達成。
必死に取り組むことで結果につながった経験を二代目経営者としての重要な糧とし、一層の多品目経営に挑戦、地域の花づくりをけん引するモデル農家となることを目指す。

行事概要
行事名：全国青年農業者会議（主催：全国農業青年クラブ連絡協議会）
・20歳代の農業青年を中心に全国1万人以上の会員で組織
・全国会議では「部門別プロジェクト発表」および「意見発表」が実施され、県大会、ブロック大会を経て選出されたものが出場する。



「高取焼」を新たに県知事指定特産工芸品に指定

福岡県では、県内で製造される郷土色豊かで、一定の伝統性を有する民芸品や工芸品を、県知事指定特産民芸品として指定し、光をあてることで、伝統産業の振興に取り組んでいます。
このたび、新たに「高取焼」（製造地：東峰村、福岡市。直方市、筑紫野市、添田町）を令和6年3月26日付けで県知事指定特産工芸品に指定しました。今回の指定により福岡県知事指定特産民芸品は計36品目となります。

1. 高取焼（たかとりやき）とは
高取焼は黒田藩の御用窯として盛況をみせた遠州七窯の一つです。磁器でありながら薄さと軽さが持ち味で、精密な工程、華麗な釉薬、きめ細かく繊細な生地が特徴です。
慶長7年（1602）に、直方市にある鷹取山の麓、永満寺宅間に開窯したことに始まり、福岡県内の様々な土地を幾度も移窯・増窯してきました。その変遷に伴った作風の違いも魅力です。

2. 県知事指定特産民芸品の指定要件
- ①主として日常生活の用に供されるものであること
 - ②最終完成品であること
 - ③製造過程の主要部分が手工業的であること
 - ④伝統的技術または技法によって製造されるものであること
（製造技術または技法が50年以上の歴史を有するもの等）
 - ⑤伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるものであること
 - ⑥福岡県内で製造されるものであること
 - ⑦経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品でないこと

「高取焼」県知事指定の工芸品に

高取焼 製知事指定特産工芸品に

- 1602年に始まった焼き物
- かつては黒田藩の御用窯の一つ

こうざき事務所
〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417
TEL: 0947-82-5559 FAX: 0947-82-5533

こうざき とうざきさとし 検索

略歴

- 昭和53年 添田町立添田中学校卒業
- 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
- 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
- 昭和60年 麻生セメント株式会社入社
- 平成2年 株式会社麻生情報システム 取締役
- 平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
- 平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
- 平成23年 福岡県議選（田川郡区） 初当選
- 平成27年 福岡県議選（田川郡区） 2期目当選
- 平成31年 福岡県議選（田川郡区） 3期目当選
- 令和5年 福岡県議選（田川郡区） 4期目当選

福岡県議会で主な所属

- 自由民主党県議団
- 県民生活商工常任委員会 委員
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会 副委員長
- 令和5年決算特別委員会 理事
- 福岡県消費生活審議会 委員
- 交通安全事故をなくす福岡県民運動本部 委員
- 福岡県タイ友好議員連盟
- 福岡県緑林・林業・林産業活性化促進議員連盟
- 福岡県日韓友好議員連盟 副会長
- 福岡県日米友好議員連盟
- 福岡県日中友好議員連盟
- 福岡県国際交流推進議員連盟
- 福岡県ベトナム友好議員連盟
- 福岡県台湾友好議員連盟
- 福岡県防衛議員連盟
- 福岡県果樹振興議員連盟
- 遠東地域活性化対策福岡県議員連盟
- 産地地域活性化対策福岡県議員連盟
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
- 福岡県観光産業振興議員連盟
- 福岡県文化議員連盟 副会長
- 福岡県スポーツ議員連盟
- 九州・沖縄未来創造会議
- 九州の自立を考える会
- 日本会議福岡支部
- 田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問
- 田川広域観光協会 理事
- 北九州下関道路整備促進福岡県議員連盟
- 日田彦山線沿線地域振興推進協議会 委員
- 福岡県地域公共交通事業振興議員連盟